

父の日

みなさんは、「父の日」の起源をご存じですか？1909年にアメリカのソノラ・スマート・ドッドという女性が、男手一つで自分を育ててくれた父をたたえて、教会の牧師に礼拝を依頼したことが始まりと言われています。しかし現代の父の日とはいうと、「いつも頑張ってお父さんに感謝をする日」というイメージが強いのではないのでしょうか。ソノラとは少し違いますね。

さて、男女共同参画を進めていくためには、父親の家事、育児という視点から考えていくことも必要です。最近では「イクメン」や「イクボス」といった育児に積極的に参加する男性を表した言葉がはやっています。しかし、6歳未満の子どもを持つ家庭を対象にした調査によると、夫が家事・育児にかけける時間が海外では3時間以上という結果に対し、日本では1時間となっています。また、日本における男性の育児休業取得率は若干上がってきたものの、いまだ3%弱となっています。実際

「イクメン」や「イクボス」と呼ばれる方はわずかで、ただの流行語で終わってしまうのではないかと心配です。

では、男性が育児に参加できない原因は何でしょうか。「残業が多く、仕事と生活のバランスが取りにくい」、「育児休業取得を言い出しにくい職場の雰囲気がある」、「男性は仕事、女性は家庭という考え方にとらわれている」などさまざまに考えられます。男女共同参画社会を実現するためには、父親たちをはじめ、企業、社会に意識改革が必要だと思えます。その意識改革は少子化や女性雇用問題などを考えることから始まるのではなく、一人の父親として、子育てが自分や子どもの人生にとってどんなメリットがあるのかを、考えてもらうことから始まるのではないのでしょうか。

今年の父の日は6月21日。その日が「働くお父さん」から「働き、育ててくれるお父さん」に感謝をする日に、早くならないですかね。

〈他人事じゃない!? 怖~いトラブル〉

消費生活のお話

秘書広報課広報広聴係（内線186）

本物そっくりの偽サイト
代金を振り込んだが商品が届かない

（事例）

正規のサイトと信じて商品を購入し、銀行で代金を振り込んだが、商品が届かない。サイトの問い合わせ先にもメールアドレスしか表示されておらず、直接連絡することもできない。

本物そっくりに作られた偽サイトが後を絶ちません。偽サイトの特徴として次のようなことが挙げられます。

- ▽日本語が不自然
- ▽振込先が個人名（外国人名義が多い）
- ▽メールアドレスがフリーメール
- ▽価格が極端に安い

通信販売においては、運営会社の住所や電話番号などを表示しなければならぬと法律で定められています。怪しい点がないか、購入する前にきちんとサイトを確かみましょう。

少しでも不安に思ったらご相談ください。

消費生活相談窓口

場所 市役所1階 広報広聴係
日時 月～金曜日・午前9時～午後4時（予約優先）
※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

